

目次

若い技術者に期待する……………斎藤 義治…1  
 [昭和41年度官公庁の事業概要] (その3)  
 VII. 昭和41年度日本鉄道建設公団事業計画(案)……………佐久間 貞二…2  
 VIII. 昭和41年度首都高速道路公団の事業概要……………三浦 起…5  
 IX. 昭和41年度阪神高速道路公団の事業概要……………平野 竹次郎…8  
 X. 昭和41年度農地開発機械公団の事業概要……………宮門 政雄…12  
 XI. 昭和41年度電源開発計画の概要……………伊藤 和幸…17  
 昭和40年における土木建設機械ならびに  
 関連機械の生産動向……………保土田 角雄…22  
 ヨーロッパにおける泥水工法……………福住 隆二…25  
 三太郎国道改築工事の概要……………秋吉 成美…30

グラビヤ—三太郎国道の改築工事

加藤50TH型T&Kアースドリルの性能試験報告……………千田 昌平…34  
 [昭和40年度官公庁・建設業界で採用した新機種] (その2)  
 III. 建設業界で採用した新機種……………島津 武…36  
 [新機種紹介]  
 日立TS05トラクタショベル……………宇野 浩司…48  
 デルマック斜ぐい打機……………梅田 勝一…50  
 [建設機械化講座] 第39回 現場フォアマンのための土木と施工法  
 XI. くい基礎工法(その5)  
 3. 既製ぐい基礎工法(3)……………吉村 元宏…52  
 [建設機械化研究所抄報]  
 試験研究報告(No. 16)……………建設機械化研究所…59  
 アスファルトプラントの性能試験……………松野 三朗…63  
 月成 稔  
 [文献抄訳]  
 全断面ボーリングによる立坑の掘削……………田辺 四郎…73  
 [文献調査]  
 統計的手法による  
 パワーショベルの動力消費量の研究……………施工部会…75  
 文献調査委員会  
 [支部便り]  
 創立15周年記念 第9回建設機械展示会開催……………中国四国支部…78  
 行事一覧・編集後記……………(斎藤(二)・柴田)…80

◇表紙写真説明◇

日立TS05トラクタショベル

日立建機株式会社

建設の機械化が進むにつれ、大型の土工機械が要求される一方、小型土工機械もまた強く要望されてきている。本年4月から発売を開始した日立TS05トラクタショベルは、このような需要家各位のご要望にこたえて、輸送に便利な小型ながら、作業能力が大きく、操作のしやすい、しかも耐久性のある機械をねらって製作したものである。

本機のおもな特長は、次のとおりである。

- (1) エンジンは、ねばり強さを重視してセットしてあるので、エンストしにくい。
- (2) 油圧ブースタを採用しており、レバー操作が非常に軽い。
- (3) 一クラス大型の足回り部品を採用しており、耐久性がすぐれている。
- (4) 他日立製ブルドーザ、トラクタショベルと部品の互換性高く、アフターサービスが容易である。

(詳細は本文48頁参照)

主な仕様

バケット容量(標準)	1.2 m <sup>3</sup>	接地圧	0.62 kg/cm <sup>2</sup>
全装備重量	10,200 kg	エンジン形式	DA120型
全長(バケット地上)	5,105 mm	作業時最大出力	72 PS
全幅	2,000 mm	走行速度 前進1~4速	2.6~8.9 km/hr
全高(排気管を含む)	2,515 mm	後進1~4速	3.1~10.9 km/hr